



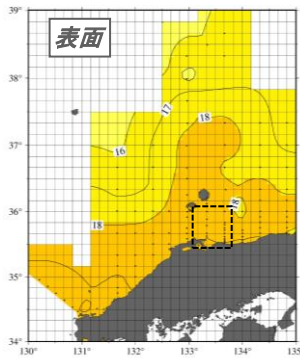
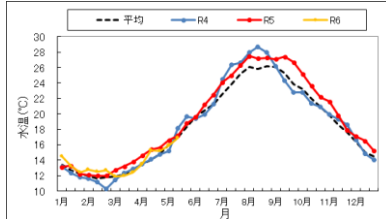
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

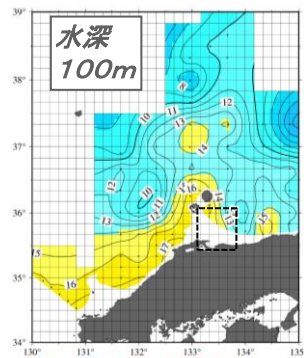
(電話:0858-34-3321)

6月中旬 20.9℃

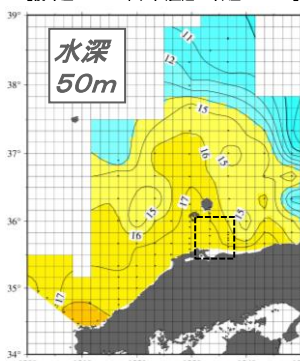
平年より 0.7℃高め



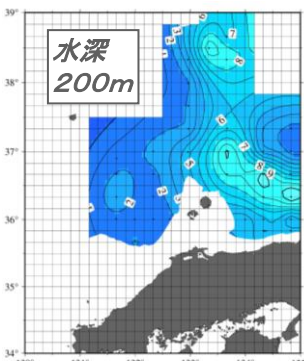
福岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は18.5℃(18.2~18.8℃)を示しています。【前年差:-0.83℃、平年(直近30年)差:-0.59℃】



平均水温は13.1℃(12.8~13.8℃)を示しています。【前年差:-1.85℃、平年(直近30年)差:-1.84℃】



平均水温は17.1℃(16.8~17.8℃)を示しています。【前年差:+0.28℃、平年(直近30年)差:+0.13℃】



福岐諸島北東沖から鳥取県東部沖にかけて6℃以上を示す暖水塊があります。

水産試験場

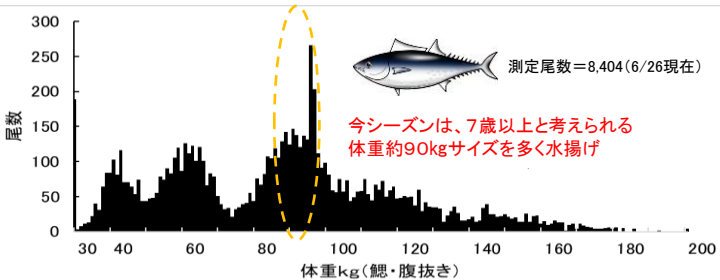
境港クロマグロの水揚げがハイペース!



5月21日の初水揚げ

○今季のクロマグロ漁は5月21日が初水揚げとなり、過去一番早い水揚げとなりました(2番目は昨年5月25日)。
○6月28日現在で、1,024トン(前年水揚げ量の約93%)が水揚げされ、近日に漁獲枠の上限に達し、水揚げ終了の見込です。(過去の最も早い水揚げ終了日:令和4年7月7日)。
○もはや、夏の風物詩というより夏の訪れを告げる初夏の風物詩に変わりつつあります。

○今季の水揚げサイズは、過去20年間で最も大きい平均体重85kgとなり、特に46トン(322尾)が水揚げされた5月23日は、平均142kg、最小でも91kgと大型個体ばかりで関係者を驚かせました。
○国の資源評価でも非常に順調に資源が回復していることが示されたところであり、今後の漁獲枠の増加を期待する声が高まっています。



令和6年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 千750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 千684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

6月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水域	鳥根県沖N36°以北に冷水域及び冷水域が認められました。
福岐諸島北方の冷水域	福岐諸島北方N37°30'以北に冷水域が認められました。
山陰・若狭沖冷水域	鳥取沖N36°40'以北に冷水域(11℃以下)が認められます。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れと考えられます。主流の一部は、鳥根沖の冷水域周辺で反時計回りに流れ、鳥根沖及び福岐諸島北方にまたがる冷水域に沿って北東へ流れた後、山陰・若狭沖冷水域に沿って南下していると考えられます。

水産振興課・漁業調整課

～とっとり海のごちそう祭り2024開催のお知らせ～

磯焼け等海の問題について県民の皆さんに知っていただくために、「鳥取県ブルーカーボンプロジェクト」実行委員会が開催するイベントです。当日は様々なコーナーが用意されており、鳥取の豊かな海の幸に触れながら海の問題を楽しく学ぶことができますので、ぜひお越しください!

「鳥取ブルーカーボンプロジェクト」とは?

海藻の群落である藻場は魚のすみかとなり、温室効果ガス(二酸化炭素)の吸収源(=ブルーカーボン)にもなる、海にとって大切な存在です。しかし、鳥取の海ではムラサキウニによる食害等により、藻場が失われつつあります。

磯焼け対策としてムラサキウニを単に駆除するのではなく、蓄養試験により身入り向上に向けた研究を行いつつ、地域の方々とう加工品・メニュー開発を実施し、成果品を海のメッセージと共に展開することで、県民の皆さんの磯焼けやブルーカーボンへの課題・意識を高め、未来の海へ引き継ぐアクションの輪を広げる活動です。

【日時】

令和6年7月15日(月)

10:00～13:00

【会場】

賀露港 鳥取県漁協荷さき場

【主なイベント(予定)】

- タッチングプール
- サザエつかみ取り
- ウニ醤油料理試食
- 料理教室
- クイズ大会
- 魚放流
- 魚すくい取り など

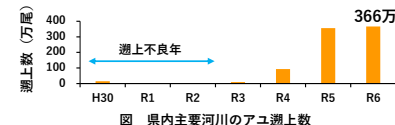


栽培漁業センター

令和6年はアユ釣りがオススメです!

県内の河川では、昨年に続きアユの遡上が絶好調です!また、各河川で40～50尾釣られる方も珍しくなく、釣れ具合は昨年以上の盛り上がりです!!

近年、アユ遡上数が激減したこともあり、各漁協では産卵場造成やカワウ防除などの対策に力を入れて毎年継続されてきました。その甲斐もあってアユ遡上数は回復傾向にありますが、昨年12月に当センターが実施した海域調査ではアユ仔稚魚をあまり採集できませんでした。このため、今年の遡上数が減少することを心配していましたが、予想を覆し、昨年以上の結果となりました。



各漁協の組合員の方々が対策を継続されたこともあり、アユの遡上は3年連続で良好な状況が続いています。当センターでは今後もアユがたくさん遡上し、よく釣れるよう、各河川で実施される対策や調査に協力していきます。

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530